

脱知ったかぶり宣言！

先日、神奈川県に住む友人から「豪徳寺ってイイお寺だね」と言われ、「そうでしょう、イイでしょう」などと、さも知っているかのような返事をしてしまいました。すみません。近くまでは行ったことはありますが、境内に入ったことはありませんでした。そこでふと思ったのが、東京タワーに登ったことがない都民が多いのと同じように、名前と場所は知っているけど世田谷の名所に行ったことのない区民も実は多かったりするのでは？ということ。ならば代わりに行ってみましようというのが今月の企画です。



広からず狭からず程よい敷地に伽藍が上手く配置されています。静かで落ち着いた心むお寺です。

豪徳寺 世田谷線宮坂駅下車徒歩 5 分

鷹狩の帰りに通りかかった彦根藩主井伊直孝に対して寺の飼い猫が手招きをしたため、直孝はここで一休みすることにしました。寺の住職からお茶の接待を受けていると雷雨になりました。直孝は「猫が招いてくれたおかげでずぶ濡れにならずに済んだ。これは縁起がいい。」と喜び、これが縁でこの寺が井伊家の菩提寺となり、直孝が没すると、直孝の院号「久昌院殿 豪徳天英居士」にちなみ寺の名前を豪徳寺と改めました。



山門



香炉



佛殿



開祖堂



鐘楼



区内最古の梵鐘



三重塔



三重塔にも招福猫が



法堂



風格のある寺務所

国内はもちろん海外の観光客も多数訪れ盛んに猫の写真を撮っていました。



猫をお祀りする招福殿



招福猫奉納所



ものすごい数の招福猫



墓地入口の六地藏



井伊直弼のお墓

世田谷城址公園 世田谷線宮坂駅下車徒歩 5 分 豪徳寺のそばです

昭和 15 年に開園した世田谷区内唯一の「歴史公園」で「東京都指定文化財」にもなっています。公園内には、昔のおもかげを残す土塁や丘、谷があり、樹木に覆われた自然豊かな公園で、さぎ草の伝説の主人公「常盤姫」もここに住んでいました。世田谷城は、初代吉良氏が南北朝の頃、関東管領・足利基氏から、戦の手柄により、武蔵国世田谷領をもらいうけて築城したものです。



* てくたく刀サッチ #49 「覆馬場」 上用賀 7-27 *

この建物は、雨天時や室内競技などのためにつくられた馬場で、大きな屋根で覆ってあるので覆馬場（インドアリーナ）といえます。馬事公苑が昭和 39 年（1964）に開かれた第 18 回オリンピック東京大会の馬術競技会場に決まると、主会場となった芝馬場のほか、練習などのための関連施設が整備されました。覆馬場もそうした施設のひとつで、はじめは事務所前の角馬場（メインアリーナ）のところに建てる予定でしたが、工事によって伐られてしまう樹木を残すために現在の場所に変更して建設されました。覆馬場としては日本一の大きさを誇るこの建物は、現在でも各種大会や練習などに使用されています。



松陰神社 世田谷線松陰神社駅下車徒歩 5 分



黒い大きな鳥居が目印です。一步足を踏み入るとそこは松陰ワールド！

幕末の思想家・教育者である吉田松陰、および彼の門人である伊藤博文、山県有朋はじめ、松下村塾の生徒を祭神とする松陰神社は、学問の神として崇敬を受けています。松陰が安政の大獄で刑死した4年後の1863年（文久3年）、高杉晋作など松陰の門人によって小塚原の回向院にあった松陰の墓がここに改葬されました。1882年（明治15年）11月21日、門下の人々によって墓の側に松陰を祀る神社が創建されました。現在の社殿は1928年に完成したものです。



御社殿



御社殿の内部



神楽殿



手水舎



松下村塾です！



中央が松陰のお墓



2体ある松陰像。どちらが実物に近いのでしょうか？



石灯笼には伊藤博文等門下生の名が

世田谷八幡宮 世田谷線宮坂駅下車徒歩 1 分



風格と迫力を兼ね備えた社殿

1091年（寛治5年）、源義家は後三年の役に勝利した帰途、宮の坂の地で豪雨に遭い、天候回復を待つため滞りました。その際、戦勝したのは氏神である八幡大神の加護によるものとして、豊前国宇佐八幡宮の分霊を勧請し祀ったのが始まりとされています。御祭神は應神天皇・仲哀天皇・神功皇后。



社殿内部



手水舎



池の亀



巖島神社が！



阿・咩ともに子を抱く姿の狛犬



招魂社



高良神社



力試しに使われた力石



**ご自宅まで配達します！ 2017年
アサッチのオススメ本！ 6月**



Reライフマガジン
ゆとりら 夏号

週刊朝日増刊 定価：880円（税込）

ぐっすり朝まで眠りたい：「リセット呼吸」「快眠ツボ」「90分前入浴」
「ちょい遅寝」etc. でじょうずに眠る
さあ、宝塚歌劇に出かけましょう：宝塚5組公演ガイド
インタビュー／元宙組トップスター 姿月あさと などなど



大正六年九月 四拾八貫
細野政吉 とあります！



境内には土俵があります。古来、祭礼として相撲が奉納されていて江戸郊外三大相撲の一つでした。